

天野為之 日本の近代自由主義経済学先覚者。大隈重信を支えて東京専門学校を発展させ早稲田実業を創立。

あまのためゆき

遣欧使節・1861 = 江戸麻布桜田の唐津藩主邸で、藩医天野松庵の長男に生まれる。

幼くして父を亡くし、

明治維新・1868 = 7歳：維新により、母とともに、唐津に移り、

初の日刊新聞1870 = 9歳：

廃藩置県・1871 = 10歳：開設された唐津藩洋学寮に入学、英語教師をしていた高橋は清から強烈な影響を受け、

学問のすすめ1872 = 11歳：

明治6年政変 1873 = 12歳：高橋が東京に戻ると、

初の民間工場1875 = 14歳：後を追うように、上京して東京開成学校に入学、

加藤高明・高田早苗・坪内逍遙らと親交し、

西南戦争・1877 = 16歳：改編により、東京大学予備門に進み、

琉球処分・1879 = 18歳：東京大学文学部政治学及理財学科に進学、

フェノロサからイギリス流の経済学を学ぶうち、**小野梓**・**大隈重信**らの唱える自由民権思想に共鳴し、

明治14年政変1881 = 20歳：明治14年の政変で、**大隈**らが追放されると、

新体詩抄・1882 = 21歳：卒業とともに、**大隈**率いる**改進黨**に入党、**大隈**が東京専門学校を設立するのを積極的に参加し、開校とともに、**選任講師**となって**経済学**を講義、**高田**・**坪内**とともに、**名講義**を謳われる。

帝国大学始・1886 = 25歳：講義をもとに、**日本人によって日本語で創作された初の業績となる名著「経済原論」**を刊行。

この間、自由民権思想普及のため各地を遊説し、普通選挙の実施などを求めて奔走、

初の対等条約1888 = 27歳：

帝国憲法発布1889 = 28歳：{日本理財雑誌}創刊。

帝国議会始・1890 = 29歳：「日本歴史」。**第一回衆議院選挙**に、**唐津**から立候補して当選、

大津事件・1891 = 30歳：{日本理財雑誌}廃刊。「高等経済原論」、**第二回は、品川弥次郎**による激しい選挙干渉で高知県と佐賀県が標的となり、**落選**。以後、政界に出ず。

日清戦争始・1894 = 33歳：

日清戦争終・1895 = 34歳：この年、町田忠治により{東洋経済新報}が創刊され、

八幡製鉄始・1897 = 36歳：{東洋経済新報}第二代主幹となり、社説を担当して活発に評論活動。

子規句歌革新1898 = 37歳：法学博士。

教科書疑獄・1902 = 41歳：{東洋経済新報}から「コーン財政学」を刊行。この年、東京専門学校が早稲田大学となり商科科長、同時に***自らの教育論を具現する早稲田実業学校を開設し校長に就任**。

日露戦争始・1904 = 43歳：専門学校令制定とともに改組。**社説も「中学革新に関する世論」**を代表に、**経済教育論**が多い。

日露戦争終・1905 = 44歳：

満鉄発足・1906 = 45歳：

韓国反日暴動1907 = 46歳：_{東洋経済新報}主幹を辞任。

韓国併合・1910 = 49歳：「経済策論」、

明治天皇没・1912 = 51歳：

21ヶ条要求・1915 = 54歳：**大隈**の後を継いで、早大の二代目学長に就任。早実校長を辞職。勲三等瑞宝章。

ロシア革命・1917 = 56歳：**早稲田騒動**が勃発、学長を辞任し、さらに教授も退職して、

本格政党内閣1918 = 57歳：**早実校長に再任**。以後、**実業学校に専念**。

原敬首相暗殺1921 = 60歳：

水平社結成・1922 = 61歳：この年、**大隈**が死去、

護憲三派圧勝1924 = 63歳：

満州事変・1931 = 70歳：

国際連盟脱退1933 = 72歳：

*晩年まで実業学校の校長として、その運営に当たりながら、自らも英語や経済学を講義し続けて、

日中戦争始・1937 = 76歳：

健保+総動員 1938 = 77歳：腸チフスにより**没した**。